

事務 事業名	コード1	2122	干潟公民館活動費	課	生涯学習課		
	コード2		【2120管理費含む】	所属班	干潟公民館		
			<input type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	68-3111	内線	-
政策 体系	基本方針	4	心豊かな人と文化を育むまちづくり	予算	会計		
	施策	5	生涯学習の充実	科目	一般会計		
	施策の展開	4	生涯学習講座の充実・人材育成	根拠	社会教育法、旭市公民館の設置及び管理に関する		
	基本事業	252	生涯学習講座の開催	法令	条例、規則		

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 49 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	地域における生涯学習の中核的な施設として、施設の維持管理及び運営を行う。 また、市民が新しい知識を得たり、さまざまな体験をし、健やかな生涯を過ごすための学習の場、交流の場として情報の提供を行い、各種講座教室の開催をする。 【業務の流れ】 ・施設の維持管理 通年 ・主催事業：次年度開催予定事業の検討(10月頃)→講師及び講座内容の検討→公民館運営審議会で事業内容の審議→開催要項等の作成→受講生募集(新年度4月)→教室等の開催(5月以後) ・貸館業務、図書貸出：随時

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)
需用費(消耗品、光熱水費、修繕料等) 役務費(通信運搬費、手数料等) 委託料(浄化槽維持管理委託料、エレベーター保守点検委託料等) 使用料及び賃借料(放送受信料、事務機賃借料等) 報償費 等
② 延べ業務時間の内訳
21年度 2,015時間×4人 22年度 2,015時間×4人 23年度 2,015時間×3人+(2,015時間×2/12月×1人) 24年度 2,015時間×3人

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	8,443	13,858	9,873	10,735	
	事業費計(A)	千円	8,443	13,858	9,873	10,735	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	4.00	4.00	3.17	3.00		
	延べ業務時間	時間	8,060	8,060	6,381	6,045		
費	人件費計(B)	千円	30,628	30,628	24,248	22,971	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	39,071	44,486	34,121	33,706	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・施設管理(消防用設備保守点検等) ・主催事業 4事業 ・学級講座 12事業	ア 施設管理費	千円	7,143	12,621	8,784	9,392		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) ・施設管理(消防用設備保守点検等) ・主催事業 4事業 ・学級講座 12事業	イ 主催事業企画数	事業	4	6	4	4		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	・施設、設備 ・市民	ア 施設の延床面積	m ²	1,848	1,848	1,848	1,848		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか) ・利用者が安全、快適に施設を利用できる。 ・主催事業並びに学級講座等を通じ、コミュニケーションの場が広がり、又、生涯を通し趣味、新たな生き甲斐を見出すことができる。	イ 人口	人	70,138	69,749	69,223	69,223		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	・自主的活動の推進 ・人材育成	ア 施設での事故件数	人	0	0	0	0		
		イ 講座に対する苦情件数	人	0	0	0	0		
		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
		ア (自主サークル数)	団体	11	10	11	12		
		イ (ボランティア・本の読み聞かせ者数)	人	0	0	3	5		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
平成17年に1市3町が合併し、今まで当該公民館としては、主催事業及び学級講座については実施していなかったが、合併前の他市町との均衡を図るため実施することとなったものである。	少子化により、子ども向けの事業においては参加者数の減少が窺える。	特になし。

事務事業名	干潟公民館活動費	課名	生涯学習課	班名	干潟公民館
-------	----------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市民の多様な生涯学習のニーズに対する対応。また、市民の自主的な活動の促進、さらには知識を受け継ぎ広めていける者の人材育成を目的とした事業であり、上位目的に即したものと考える。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 市民全般を対象とした、各種講座等を開催するものであり、適切と考える。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 文化・歴史を後世に引き継ぐためにも、行政の関与は適切と考える。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 主催事業参加者数及び学級講座参加者数並びに自主サークル数等を考慮し、一定の成果をあげているものと考ええる。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 ・施設管理については、現在より費用をかけることにより、一層の安全性が確保できると考える。 ・現在以上に事業を増加させることにより、より一層の成果は期待できると考える。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 生涯学習課管轄の施設で、同様の講座で定員に満たないものについては、他施設への案内を行い統合を図っている。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 管理費については、建物の老朽化により、修繕箇所があるものの財政的に執行できない状況にある。施設内の草取りについては、ボランティアにより行ってくれている現状である。活動費にあつては、講座の運営にあたり、極力講師及び受講生で行ってもらい、職員の事務量を軽減している。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 既に臨時職員、1名を雇用し各種講座等の一部を受け持つてもらい、正規職員の業務時間は軽減されているものである。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益機会については、基本全般を対象としている。人気の事業等については、初めての人を優先し、より多くの人に参加して貰えるよう手段を講じている。また、負担金を徴するものについては、基本的に教材費等の負担であり、金額的にも適正と考える。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 生涯学習施設としての講座の開設や自主運営活動の促進、会議等への貸し館など地域住民のコミュニティの育成に寄与しているが、老朽化による施設の維持管理費の増高、安全性の確保の面から検討課題が多い。
---	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①施設が老朽化しており、大規模改修か他の施設へ機能を移転しての事業継続が望ましい。 ② ③ ④																						
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①干潟地区に必要な施設であるが、移転する場合に同規模の機能を確保することが難しい。 ② ③ ④																						